

昭和医科大学烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕 病 院 長 真 田 建 史

〔編集責任者〕 広報委員長 真田 建史

〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第 2 1 2 号

〔2025年4月4日発〕

新年度のご挨拶

病院長 真田 建史

2025年（令和7年）、新しい年度の始まりにあたり、ご挨拶させていただきます。2024年4月の病院長就任挨拶の紙面（第200号）において、烏山病院は1926年5月に森崎半治先生が創設された病院であることを紹介しました。今年はいよいよ創立100周年に向けて、カウントダウンが始まります。また、昭和大学は本年4月1日をもって、昭和医科大学に校名を変更しました。本学は1928年に財団法人昭和医学専門学校として創立され、1946年に財団法人昭和医科大学が開学された経緯があり、約80年ぶりに校名が開学時に戻ることになります。

さて、烏山病院は今年度新入職者21名（学外復職者8名含）、附属病院間異動者25名、合計46名の皆さまをあらたにお迎えしました。

初めて勤務される皆さま、ようこそ、烏山病院にお越しくださいました。復職されます皆さま、お帰りなさい。これから当院が皆さまにとって働きやすい、来てよかったと思っただけの職場となることを願ってやみません。

烏山病院は大学附属の精神科病院です。これまで繰り返し、精神科病院で働く心構えとして、患者の意思によらない強制的な治療を行うことがあること、さらに患者の特性を理解したうえで、「全職員がそれぞれの立場で患者のために何ができるのかを問い続けてほしい」と伝えてきました。また、精神科診療においては、症状の背景にある患者の人生や生活に目を向けてほしいと伝えてきました。一方、精神科診療は、時代の社会情勢により、求められるニーズは変化していくものです。烏山病院は20年前にそれまでの統合失調症患者を対象とする社会復帰活動を中心とした取り組みから、精神科救急病床の開設・拡充、成人発達障害の専門外来・デイケア開設、ストレスケアを中心とする特別病床の開設を行ってきました。さらに、10年前にアルコールのみならず、薬物、ギャンブル、インターネットやゲーム



等を対象としたアディクション（依存症）専門外来を開設して、いまや都の依存症治療拠点機関ならびに依存症専門医療機関に認定されています。

現在、医療を取り巻く環境は日々厳しさを増しています。先日、3月12日に日本医師会と6病院団体が次年度の診療報酬改定に向けて、逼迫した経営状況を訴える合同声明を公表しました。我々はどういった事態においても、パイオニア精神を忘れることなく、患者のために何が出来るのかを改めて職員の皆さまに問い続けたいと思います。今年度も皆さまと協働して、来てよかったと思っていただける病院を目指していく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

第34回 家族のつどい

リハビリテーションセンター 五十嵐 美紀

「第34回家族のつどい」が2月22日(土)に開催されました。お忙しい中、130家族にご参加いただきました。

家族のつどいは発達障害を持つ方のご家族を対象に、発達障害医療研究所とリハビリテーションセンターが烏山東風の会の皆様のお力添えの元、開催しております。烏山東風の会(※)の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。今回は烏山病院の発達障害支援をテーマに講演会と懇談会をおこないました。講演では、横井、五十嵐より「心理社会的治療と発達障害」をテーマに、真田病院長より「腸内細菌と発達障害」をテーマにお話をさせていただきました。

「心理社会的治療と発達障害」の中で「よいスタッフとは」について話をしました。みなさんにとって、「よいスタッフ」とはどんなスタッフでしょうか。

本人の回復を信じていること、意図をもって支援をしていること、笑顔であること、小さな変化に気付けること、誉め言葉をたくさん持っていること、スタッフ自身が自己認知のできており自分語りができること…他にもあると思います。

新しく社会資源を探すときは参考にしてほしいですし、私たち自身もそうあるよう日々努めていきたいと思っています。

懇談会のご家族に10名程度のグループに分かれていただき、意見交換を行いました。私が担当させていただいたグループでは、「自立のタイミング」について話し合いました。自立についての捉え方や意識する時期についてはそれぞれであることは共有しながらも、一人暮らしや就職をした方のご家族もお

第34回 家族のつどい

2025年2月22日(土) 13:30-16:15
※オンライン参加の方は15:00まで

13:30~14:00

講演①:「心理社会的治療と発達障害」
昭和大発達障害医療研究所 心理士 横井英樹

14:00~14:45

講演②:「腸内細菌と発達障害」
昭和大附属烏山病院 院長 真田建史

14:45~15:00

質疑応答

-----オンライン参加の方はここまで-----

15:00~15:10:休憩

15:10~16:15:家族懇談会



られたのでご経験を話していただきました。何年もかけご両親や支援者が自立についての後押しをして徐々に自信を持ち自立した方もおられれば、ご家族が病気になったことで急に意識が高まった方もおられました。

ご家族ほど本人のことを思い支えようとしている存在はいません。そのご家族が正しい知識や心の支えを得て、健康でいることはとても重要なことです。その一助になりたいと考え、家族のつどいを行っています。次の開催は6月28日（土）になります。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

東京都地域精神科身体合併症救急会議について

A3 病棟 看護師 西田 歩未

2月20日に東京都地域精神科身体合併症救急会議が開催されました。この会議は身体症状と精神症状を併せ持つ患者に対し迅速かつ適切な医療を確保すること、一般救急との連携を強化し地域で受け入れられるよう体制を整えることを目的としています。

今年度も多方面で精神科・身体科医療に携わるスタッフが多数参加され、大変有意義な時間となりました。

救急会議終了後に精神疾患対応力向上研修会が開催され「依存症患者さんって大変？」というテーマで研修を実施しました。精神科以外の救急外来や内科などで実際に依存症患者とかかわる機会のスタッフも多く参加していたこともあり、私自身が一般科の看護師として依存症患者とかかわっていたエピソードや自分自身が抱いていた感情、さらに私の推し活を依存症と交えて(笑)お話をさせていただきました。

依存症と聞くと意思が弱いだけじゃないのというイメージが多い病気だったりもしますし、昔は実際そういう風に片付けられてしまっていたこともあったそうです。そういったマイナスなイメージを正しい知識を持ってかかわっていくことで患者さんに対してのかかわり方も変化してくると思います。今回の研修が依存症治療の一助となれば幸いです。貴重な時間をありがとうございました。



デイケア活動

K・Sさん

水曜日の午後に行われている生活講座について紹介します。

生活講座は、生活を送るうえで重要なことを学べるプログラムです。講座の内容の例としては、裁縫の練習の回や食事のバランスを考える回、デイケア近くの避難場所に行ってみる回などがありました。

私が印象に残った講座は、裁縫の練習でボタン付けを行った回です。私は裁縫を行う機会が、学校の家庭科程度しかありませんでした。そのため、玉結びは何とか出来たものの玉止めが難しく、糸の中途半

端な位置で固まってしまいました。しかし、動画を見ながら行うことで最後には不格好ながらも、ボタンを付けることが出来ました。

また、生活講座では、1ヶ月に1回調理実習を行っています。第2水曜日に皆でメニュー決めを行い、第3水曜日に実際にそのメニューを調理しています。今までに、フレンチトーストや豚汁、粉吹芋などを調理しました。

2025年最初の回では、クレープを作りました。生地がフライパンにつかないように広げたり、ひっくり返すのは難しかったですが美味しく作れました。

これからも、このプログラムを通して生活に必要な技能を身に付けていきたいです。



【編集後記】

今日のおおぞらではデイケア家族会で「良いスタッフ」について話題に上がりました。

「良い家族」ってどんな人でもいいですか？
「良い親は？」「良い子供は？」「良いパートナーは？」

「良い社長は？」「良い友人は？」人は生きていく中で様々な役割を持ちます
そのすべてに完璧であることは難しいですが、どういうわけか自分でありたいか、考える習慣はつけたいと思います。

さて、烏山病院はどういう病院ですか良いでしょうか？

一面の院長挨拶を読んで受け取って皆さんの意見も教えて頂ければ幸いです。

(広報委員 常岡 俊昭)



烏山病院精神医学講座Instagramが開設されました。

随時情報を発信していきますので、どうぞよろしく願いたします。



《2月》	入院(前月)	外来(前月)
◆延患者数	7,721(8,646)	5,808(6,406)
◇一日平均患者数	275.8(278.9)	264.0(263.3)
◆診療実日数	28(31)	22(23)

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

診察時間：月曜日～金曜日・8時30分～17時
土曜日 8時30分～17時
電話：月曜日～金曜日 03-3300-5231
土曜日 03-3300-5231
◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時
土曜日 8時30分～14時
◎休診日：日祭日・本学創立記念日・年末年始

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。

